



進学や就職等に向け
子どもたちを
経済的に支援したい！

児童養護施設や里親家庭から巣立つ18歳に...

少しでも安心して自立への一歩が踏み出せるように。

さまざまな理由で家庭での養育が難しい子どもたちが「児童養護施設」や「里親家庭」で生活していますが、原則18歳でその生活から巣立つタイミングを迎えます。

まだ18歳という年齢。自力で新しい生活をスタートさせる際に生じる“不安”の背景については、社会全体で考えていかなければなりません。

神奈川県社協では **18歳の自立を経済的に支援する2つの事業**があります。

※いずれも交付には必要な要件、審査、交付限度枠があります。



入学支度金交付事業

大学、専門学校等への進学に必要な支度金（1人20万円）を支給。



自立支援金交付事業

初めて賃貸住宅に入居する際に必要な資金（1人15万円）を支給。

萬谷子ども福祉基金、
交付事業の詳しいご案内



かながわボランティアセンター
ホームページ

この交付事業は神奈川県社協の「**萬谷子ども福祉基金**」で運用しています。

社会的な養護から自立する子どもたちの多くが経済的な課題に直面します。

2つの交付事業を今後も安定的に継続していけるよう、また18歳のスタートをひとりでも多く支援できるよう「萬谷子ども福祉基金」へのお力添えを宜しくお願い致します。

「萬谷子ども福祉基金」へのご寄附についてご相談、お問合せ

(福)神奈川県社会福祉協議会 地域福祉部地域課

横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民センター 12階

Tel 045-312-4815

Mail tomosibi@knsyk.jp

または

「かながわボランティアセンターHPお問合せフォーム」
をご利用ください。

